



2012（平成24）年11月8日  
日本女子大学

## 第八回「平塚らいてう賞」受賞者決定

### <顕彰> 秋山 佐和子 氏

(歌誌「玉ゆら」主宰、日本歌人クラブ中央幹事、現代歌人協会会員、  
日本文藝家協会会員)

11月8日(木)、日本女子大学は研究者・学生の顕彰・奨励を目的とした第八回「平塚らいてう賞」の受賞者を発表しましたので、お知らせいたします。

「平塚らいてう賞」は、人生を女性解放や世界平和のための活動に捧げた平塚らいてう氏(1906年日本女大卒)の遺志を継承し、男女共同参画社会の実現および女性解放を通じた世界平和に関する研究や活動に対する顕彰と奨励をはかることを目的として2005年に創設したものです。

本年は顕彰へ3件、奨励へ2件の応募があり、厳正な審査の結果、顕彰1件が決定し、奨励は該当なしとなりました。受賞された方を以下にご紹介します。

#### ■ 受賞者

顕彰(1件) 秋山 佐和子 氏

(歌誌「玉ゆら」主宰、日本歌人クラブ中央幹事、現代歌人協会会員、  
日本文藝家協会会員)

なお、贈賞式は2012年12月1日(土)14時より日本女子大学目白キャンパス新泉山館にて行います。

#### <選考委員>

- 蟻川 芳子 [日本女子大学学長]
- 中畷 邦 [日本女子大学名誉教授]
- 出淵 敬子 [WILPF(婦人国際平和自由連盟)日本支部副会長、日本女子大学名誉教授]
- 羽田 澄子 [記録映画作家]
- 岩田 正美 [日本女子大学 現代女性キャリア研究所所長]

—この件に関するお問い合わせ先—

日本女子大学 広報渉外課内「平塚らいてう賞」事務局  
〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1  
Tel:03-5981-3176 Fax:03-5981-3164  
E-mail:raiteu@atlas.jwu.ac.jp  
URL:http://www.jwu.ac.jp/st/grp/raiteu/



## 第八回「平塚らいてう賞」選考委員発表コメント

第八回受賞者の選考にあたり、私どもは、候補者の業績を広く、世界の女性のさらなる解放、問題の解決、平和問題や地域社会への公正な目配りと着実な行動の継続という観点から論議し、以下の諸業績に対して、「顕彰」に値するとの結論に達しました。ご業績の特色や褒賞に値する観点は下記の通りです。

### <顕彰>

受賞者：秋山 佐和子氏

研究テーマ：「青鞥」と関わった歌人 原阿佐緒と三ヶ島葎子の歌と生の再検証

### <受賞理由>

平塚らいてう賞の第八回の顕彰は、秋山佐和子氏の『『青鞥』と関わった歌人原阿佐緒と三ヶ島葎子の歌と生の再検証』に差し上げることが決まった。選考委員会で一同賛同の即時一致をみた。

『青鞥』あるいは平塚らいてうに触れていることは勿論であるが、近代の女性歌人として著名ではあるが、さまざまに評価されてきた両歌人の生涯を追った2冊の大著が主な受賞の対象である。

三ヶ島葎子については『歌ひつくさばゆるされむかも 歌人三ヶ島葎子の生涯』（TBS ブリタニカ 2002年8月刊）があり、本書は第一回日本歌人クラブ評論賞を受賞している。この研究の過程でその親友の原阿佐緒に関心を寄せ、『原阿佐緒 うつし世に女と生れて』（ミネルヴァ日本評伝選（ミネルヴァ書房 2012年4月刊）の近刊書となった。本書の出版は、新刊として、評論として、さまざまな短歌誌において、賞賛をともなって取り上げられている。

三ヶ島葎子は貧困と病弱と夫の女性関係の苦しみの中にあり、原阿佐緒は美貌ゆえのスキヤンダルにまみれた女性として従来取り上げられてきた。しかし、秋山佐和子氏はこのような人物像を転換させたといえる。

それを可能にしたのは、一つは長年にわたる研究の成果である。先ず先行する長短さまざまな両歌人の研究や評価を参照するばかりでなく、膨大な資料を駆使し、周辺の人々との関連を追い、詳細な群像を浮かび上がらせている。さらに、『青鞥』に一千首余を発表した三ヶ島葎子、二〇四首を発表した原阿佐緒の短歌を中心に両歌人の歌を多く引用し説得性を高めている。それは筆者自身が歌人であるがゆえに、それぞれの歌の持つ情景をときに解説を加え読者に訴える叙述となっているからである。

両歌人に偏見を持たずに寄り添い、両者が歌人として内なる声に誠実に生ききった生涯を追う。それは平塚らいてうと重なり、現代に生きる我々にも読み応えのある著作となったと言えよう。

以上